



6/18 「土岐らしい博物館には〇〇がある」 ワークショップでふくらむイメージ

美濃陶磁歴史館に代わる新しい博物館「土岐市文化財保存活用拠点（仮称）」のアイデアを出し合うワークショップが開催され、10代から80代の職種もさまざまな24組が、土岐市らしい博物館に必要なものや、理想の博物館像について意見を出し合いました。ワークショップで集まった意見は、次回開催の基本計画検討委員会で紹介されます。



6/18 ミツバチからの甘い贈り物 陶史の森でミツバチ教室

陶史の森の人気イベント「ミツバチ教室」が3年ぶりに開催され、家族連れでにぎわいました。教室では、県養蜂組合の赤塚金治さんからミツバチの生態や蜂蜜の種類などについて学んだ後、遠心分離器を使った蜜搾りを体験。黄金に透き通った天然蜂蜜が出てくると、子どもたちから「甘くておいしそう」「早く食べてみたい」などのうれしそうなお声が上がりました。



6/19 初めての競技にもチャレンジ TOKI スポーツフェスティバル2022

さまざまなスポーツを親しむ体験型イベント「TOKI 1 スポーツフェスティバル2022」が市総合公園と生涯学習館で開催されました。会場にはパターゴルフやアーチェリー風船割り、乗馬体験など誰もが楽しめるように工夫された12の体験コーナーが用意され、参加者は初めての競技にチャレンジしたり、互いに競い合ったりして体を動かしていました。



6/2 わたしたちのお家は大丈夫？ 妻木小学校4年生が防災を学ぶ

妻木小学校で防災教室が開催され、4年生約30人が下石・妻木地区の防災士9人らから防災資機材の使い方などを学びました。児童らは、災害時に使用する簡易トイレの使い方を学んだり、エアベッドに空気を入れて寝心地を体験したりしたほか、ハザードマップで自分の住む地域の危険箇所を調べて、「災害に備えて、日頃から準備をしたい」と感想を発表していました。



6/8 市内の工場で消防訓練 危険物の取り扱いには十分注意を

6月の危険物安全週間に合わせ、豊生ブレーキ工業（泉町）で塗料や油脂を保管する危険物倉庫からの出火を想定した消防訓練が行われました。訓練では、従業員による初期消火の後、水槽車や化学車両で駆け付けた署員が消火活動に当たり、工場長の中山告さんは「出火時に早く初動ができるように訓練を続けていきたい」と話しました。



6/11 織部の里公園で花菖蒲茶会 しっとりと和の景色を楽しむ

白や紫の花をつけるハナショウブが見頃を迎えた織部の里公園で花菖蒲茶会が開かれ、来園者はハナショウブを眺めながら抹茶で一服したり、お気に入りのアングルで写真を撮ったりして、穏やかな時間を過ごしていました。公園内の菖蒲園には20品種約1万5千株のハナショウブが植えられていて、毎年かれんな花が来園者を楽しませてくれます。



6/12 自分たちの町は自分たちで守る 陸間操作訓練

梅雨や台風シーズンを前に、土岐津町の御幸町と津路町の町内会と自警団が市や県、警察の協力のもと御幸橋に設置されている陸間の操作訓練を行いました。訓練はこの時期に毎年行っているもので、今年も約50人の関係者が集結しました。参加者からは「自分たちの町は自分たちで守るという意識を持って訓練したい」との声が聞かれ、自警団を中心に手際良く訓練が行われました。

